



楽しく学ぶ 防災・減災教育!



宮城県仙台市 わしん倶楽部
代表 田中 勢子

皆さん、「防災・減災」の言葉にどんなイメージを持たれますか? 「暗い・重い・色なら灰色」等明るいイメージは浮かびません。

しかし、阪神・淡路大震災以降「防災・減災」も「明るく・楽しく学ぶこと」の出来るツールが数多く開発されています。その楽しく学べるツールを活用しご提案を行っているのが一般市民活動団体「わしん倶楽部」です。

1 わしん倶楽部誕生!

宮城県沖地震の発生確率が日に日に増していく中、河北新聞に「防災士」と言う民間資格が掲載されており 2005 年資格を取得。しかし防災教育で学ぶことが広範囲に及ぶため、自己研鑽に励んでいた時 2007 年研修会で「クロスロード」開発者の一人慶應義塾大学吉川肇子教授と出会いました。その時から災害を怖がるだけでなく、「楽しく学びながら自助・共助・生き抜く力」を市民の皆様と共に身につけ、未来を担う子供たちに伝えたいと考えました。そんな私の思いに賛同してくれた、現在のコアメンバー 5 人と「わしん倶楽部」を 2009 年 1 月に設立しました。

また「もう年だから」と生きることに消極的な皆様に生かされている私たちが自然のすばらしさや脅威を伝えることにより、子供たちに「自助・共助・生き抜く力」を教える『伝道師』になって頂きたいと、ゲーミングシミュレーションを活用した「楽しく学べる防災・減災教育」をご提案しています。

2 わしん倶楽部の特色

(1) 「相手鏡」と言うようにメンバー自身が楽しみながら活動すれば参加者も楽しま

れると考えています。

(2) 時間が許す限り、事前打ち合わせを密に行います。特に目に見える復興は一步一步進んでいますが「心の被災」は何年たっても癒えるものではありません。教材の設問(津波等)を主催者と事前に精査します。
(3) 地域ごとに、災害の状況が異なります。既存ゲームの開発者の了解を得て各地域にあった内容に改良・改定、新規開発しご提案しています。次に、その一例をご紹介します。

3 成果物紹介

- ・ビンゴゲーム
非常持ち出し袋を考えよう 2007 年
- ・歩一歩たいそう ブーズー弁翻訳版
(歌詞集) 2009 年 (CD) 2012 年
- ・クロスロード みちのく版宮城野編
2014 年
- ・ぼうさいカルテット みちのく版
(生活編・一般編・救急編・歴史編)
2014 年
- ・ぼうさい駅伝 みちのく版
(中田編・柳生編・市民編) 2015 年
- ・もちより食堂 2016 年
- ・減災知恵袋 (G C B) 2016 年

4 楽しく学べるゲームの紹介 & 効果

「クロスロード」

阪神・淡路大震災後の神戸市職員の方々のインタビューをもとに開発された、正解のないと言われるカードゲームです。

とある中学校で「今から何やるの?」「防災のカードゲーム クロスロード」「え〜防災!」と一言。しかし終わってみると「楽



わしん倶楽部の取組の紹介

しく覚えられ、参考になりました。このゲームを通して、いろいろな考えが聞けて良かったです。今日聞いた考えを含め、地震があったらここに逃げるなど、家族と話し合いたいと思いました。」との感想を頂きました。「クロスロード」は設問に対し YES or NO のうちひとつしか選べない制約を課すため、問題を自分事として考えるようになり、多様な意見や情報を日頃から聞くことにより、多くの気づきを得ることができます。

「PUSHプロジェクト」

「もし、あなたの目の前で人が突然倒れたら、あなたはどのようにしますか？」PUSHプロジェクトではアニメのDVDと簡易キットを活用し「胸骨圧迫とAEDの使い方」の普及を行っています。突然倒れた方を救命出来る地域づくりを目指し、学校に於ける心肺蘇生教育の実施により「命を大切にする心」を育成します。

「歩一歩たいそう ズーズー弁翻訳版」

広島県呉市社会福祉協議会が開発した「歩一歩たいそう」は、歌（うさぎとかめのメロディー）＋防災（「ぼうさいダック」の内

容を基にした防災知識）＋健康体操を組み合わせたもので、健康維持、防災知識の習得、災害時のエコノミー症候群予防に役立ちます。

仙台市民の方々に親しみを持って頂くためズーズー弁に歌詞を翻訳しています。

5 まとめ

災害対応は必ずしも正解があるとは限らず、また過去の事例が常に正解とは限りません。日頃から、老若男女・異業種・多国籍の方々とゲームを通じて「楽しく防災・減災知識・技術」を身につけ、また「クロスロード」を体験し自ら主体的に考え多くの視点を共有し備えて頂きたいと思います。

最後になりましたが、平成28年度「第21回防災まちづくり大賞 消防庁長官賞」受賞の栄誉は、皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。ここに書面をお借りしお礼申し上げます。今後とも研鑽を積んで参りますので、変わらぬご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。